

孝子傳
本財盛
上卷
卷之三

觀世流改訂舊本

內三十二



明治四十三年四月三十日印刷
明治四十三年五月五日發行

訂正者、檢印
ナキモノ、偽版也

東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正者 兼
發行者 丸 岡 桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者 塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所 凸版印刷株式會社

東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所 觀音流改訂本刊行會

電話番町二五四四番

四番目
畧二番

蘆刈

三月シテ
狂吉同妻
中里從者
天下左衛門

早第

まよ都の道筋也。
尚や尋ねん。
かくよふ者へ者さ
つ方よほ申す。者よてひ。又これ
よもよもす。頼み奉りふ人の居子
の御乳の人よもよも。御里の津の國
引下り里のてひが。今一度ちあつあ

ながゆいせふをよ。波音あらす。所保
し。度より身より度より度より度より度
の通と氣をひく。夜半身や冰野代原の
曬み。景も晴りて有りの木霞む。
水無瀬行者。森とよそよ見てな、
行まへ渡りや。又この山も傍り
ゆきはるべの星齋。君はすて滿

・・・・・・・・・・

ラ・ラ・ラ・ラ・ラ・ラ・ラ

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・

狂言

かくはうかぬ。都の人民もやせだる
ね。まへどもは實市にさうめんの物
を賣つ賣ひふ。まへども男は此難は
の盧やがつて賣つてよ戯れ
て申して西國の事とてよ聞。宋の
事とてよ聞す。實ひ取ふ。輪門
待ちてゐる者とお説へ。一ノ
南

おまえの有り難うて風が吹いて
てふ△風の匂いを鹿の毛はひよ向
かはばの後^{アフタ}馬^{ガタ}に引^{ハシ}く所^{ハシ}異^{ヘテ}浦^{ハシマ}の
氣をせぬも聞^ヒてぐるはめの。ゆゑ元
宿^{ヤマ}の下^シの^{シテ}けん^{シテ}も淺^{シテ}ぬ面白
かよ^{シテ}居^リある。國^{カミ}うどん^{シテ}を^{シテ}かく
う上^{シテ}地^スえ^スう^ラ。お^シテ^{シテ}え
よ^シお^シた^シよ^シお^シお^シお^シお^シ

めど。ひだりの蘆が持てて廻る
軍は袖の上をあらわすの見つかる

早朝

いよいよ人馬を出でる

早朝

方のまへてさしつかぬで

やがて左の蘆が持てて廻るよ。見つかる蘆

左の蘆が持てて廻るよ。見つかる蘆

さあたまに着うたむと

ああつよ。都のそとをなは
蘆やぢの聲ヨオシマ聞こえ。まもじゆ優け
ひらひも音へ難はづ。若よ魚よ卡
き鄰カミゆかの蘆のあぢづれたまう
川蘆カワヒの色ぬれり。まくらの
へ。あゝ面白いばかりで草と蘆の間
草ススキ。まくらの色カタチとすらひ。

洋 オンザイ
あがやあ行シテ。サアけんきなうへり行
さうぞ。あ行シテ。あ行シテ。あ行シテ。
かの事シトの事シトとち尋ねシテ。タジキシト。徳
モウ。大野オオヤマの山ヤマよ。大野オオヤマ
カ。書シテ。書シテ。書シテ。書シテ。書シテ。